

第2回高知県新食肉センター整備検討会

次 第

平成28年12月1日（木）10:00～12:00

高知城ホール多目的ホール

1 開 会

2 議 事

(1) 新食肉センター整備の今後の主な検討事項について

(2) 第3回整備検討会までの調査項目について

(3) 整備の基本的な考え方について

3 その他

4 閉 会

高知県新食肉センター整備検討会委員名簿(19名)

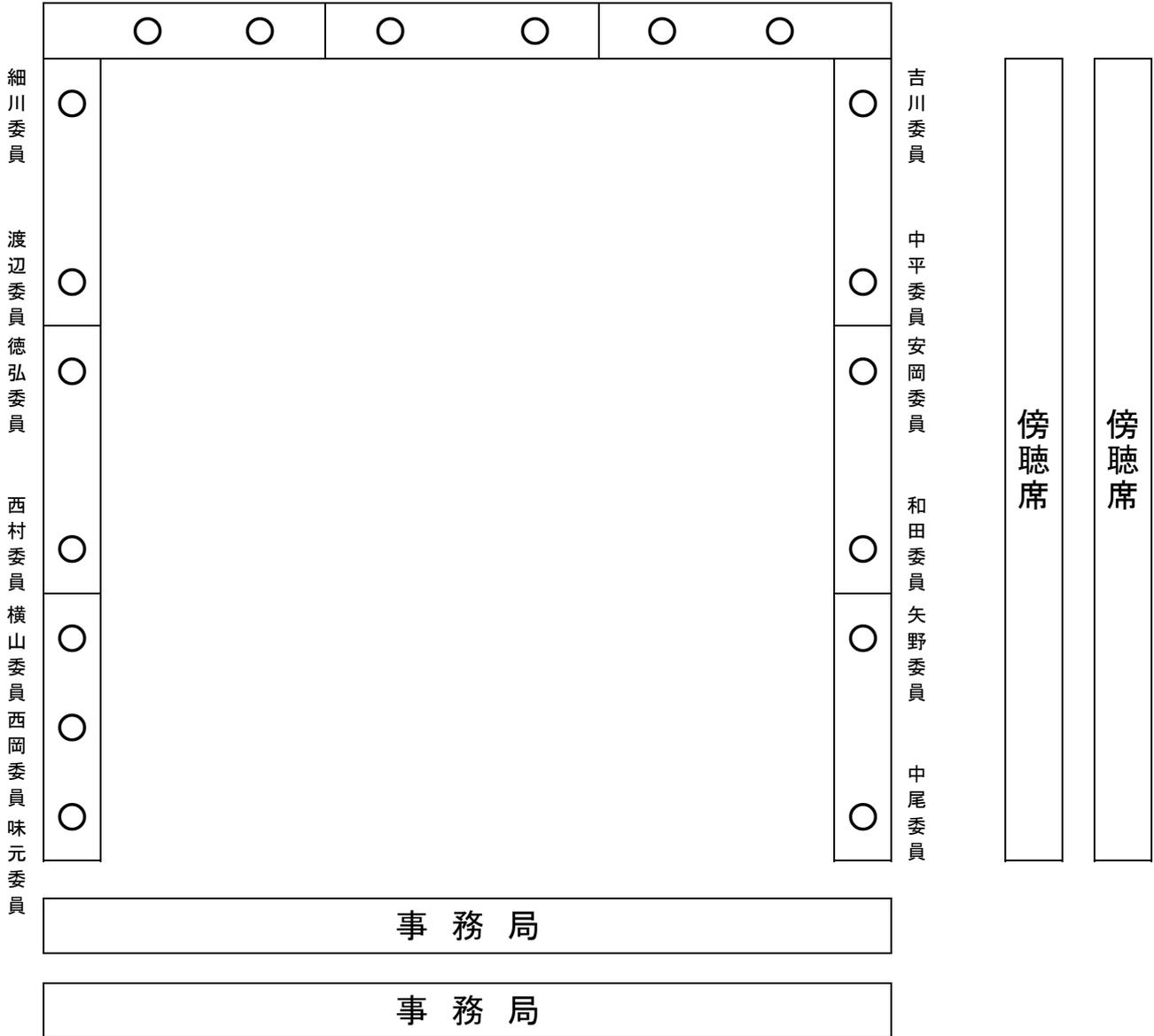
区分	所属	職名	氏名	代理
学識経験者 (3)	高知大学	教授	飯國 芳明	出席
	(一社)高知県畜産会	専務理事	澤田 章史	出席
	(公財)日本食肉生産技術開発センター	専務理事	細見 隆夫	出席
市町村 (7)	高知市	副市長	井上 哲郎	農林水産部長 長岡 諭
	南国市	副市長	吉川 宏幸	農林水産課長 村田 功
	四万十市	市長	中平 正宏	出席(10:30~) (東京より)
	田野町	町長	安岡 雅徳	出席
	土佐町	町長	和田 守也	副町長 高橋 昭雄
	禰原町	町長	矢野 富夫	出席
	四万十町	町長	中尾 博憲	出席
センター利用業者 (2)	全国農業協同組合連合会高知県本部	副本部長	濱口 達也	畜産部長 今城 朗
	高知県中央食肉事業協同組合	理事長	三谷 勝義	出席
生産者 (2)	高知県肉用牛研究会	会長	細川 茂幸	出席
	高知県養豚協会	会長	渡辺 典勝	出席
生産者団体 (2)	高知県農業協同組合中央会	1JA総合対策室部長	徳弘 吉哉	出席
	土佐れいほく農業協同組合	組合長	西村 行雄	出席
量販店・消費者代表 (2)	(株)サンシャイン	精肉課長	横山 順二	出席
	高知県生活協同組合連合会	専務理事	西岡 雅行	出席
高知県 (1)	農業振興部	部長	味元 毅	出席

第2回 高知県新食肉センター整備検討会

配席図

舞 台

三谷委員 濱口委員 飯國委員長 澤田委員 細見委員 井上委員



新食肉センター整備の今後の主な検討事項（案）

- 1．整備の基本的な考え方
- 2．本県の食肉処理を取り巻く現状
- 3．施設の規模と機能
 - (1) 生産の見込みと処理頭数
 - (2) 施設の規模と求められる機能
- 4．整備の場所
- 5．運営の体制
- 6．施設の整備

<p style="text-align: center;">検討事項</p>	<p style="text-align: center;">主な視点・論点</p>	<p style="text-align: center;">これまでに示された意見や提案等</p> <p> <input type="checkbox"/>あ：あり方検討委員会が出された意見 <input type="checkbox"/>じ：出荷団体の全農と食肉事業組合から提出された方策 <input type="checkbox"/>県：県の考え方 <input type="checkbox"/>①：第1回整備検討会が出された意見 </p>
<p>1. 整備の基本的な考え方</p> <p>(骨子案)</p> <p>①食肉センターは、と畜やセリ、加工、流通販売などの機能を通じて、生産の拡大や食肉加工による畜産物の高付加価値化、地産外商の強化や県民への安全・安心な食肉の供給といった、いわゆる川上、川中、川下の取り組みを好循環させ、拡大再生産につなげていく重要な役割を担っている。</p> <p>②食肉センターは、本県畜産の振興のために必要不可欠な施設であり、県が中心となり、市町村、JAグループ等と連携して、新施設の整備を進めて行く。</p> <p>③新施設は、と畜機能、流通機能、その他必要な機能を備えたものとし、ブランド化、海外への輸出等にも対応するとともに、食の安全を求める県民のニーズに対応できる、高度な衛生管理を実現できる施設を目指す。</p>	<p>○食肉センターの役割は何か。</p> <p>○整備の方向性をどういったものにするか。</p>	<p><input type="checkbox"/>あ高知県の畜産業を守り、生産者と消費者を結ぶ拠点としての存在意義、必要性は重要になっている。</p> <p><input type="checkbox"/>あ出荷団体による「流通機能」を重視し存続させるとともに、と畜事業を「廃止」する。</p> <p><input type="checkbox"/>あ広域食肉センターを存続させる場合は、施設の老朽化及び耐震基準の問題から、建替えは避けられない。</p> <p><input type="checkbox"/>じ経費の削減を実施し、収支均衡を目指す。</p> <p><input type="checkbox"/>県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食肉センターは、いわゆる川上、川中、川下の取り組みを好循環させ、拡大再生産につなげていく重要な役割を担っている。 ・本県の畜産振興のために必要不可欠な施設であり、県内に存続すべきもの。 <p><input type="checkbox"/>県ブランド化、海外への輸出等にも対応するとともに、食の安全を求める県民のニーズに対応できる、高度な衛生管理を実現できる施設を目指す。</p> <p>①食肉センターは必要であり、本会をこれから先に夢が広がる会としたい。</p>

検討事項	主な視点・論点	これまでに示された意見や提案等
		<p>① 畜産振興は地方創生そのものである。</p> <p>① 高知県ならではの食肉センターのあり方を検討する必要がある。</p> <p>① 県内でのと畜・流通を確保してもらいたい。</p> <p>① 高知県の産業を発展させていく視点で食肉センターの整備計画ができればよいと考える。</p> <p>① 市町村として、これ以上の赤字負担は困難。</p>
<p>2. 本県の食肉処理を取り巻く現状</p>	<p>○ 食肉センターを整備していくに当たって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 強み（S）は何か。 例：土佐あかうしをほぼ全頭と畜している。 ・ 弱み（W）は何か。 例：施設が老朽化している。 HACCPシステム未対応。 ・ 機会（O）は何か。 例：土佐あかうしや四万十ポークの人気の高まり。 ・ 脅威（T）は何か。 例：四国内における食肉センター整備の動き <p>○ 強みを活かし、弱みを克服し、機会を取り込み、脅威を回避するためにはどのようにしたらよいのか。</p>	<p>① 高知県ならではの食肉センターのあり方を検討する必要がある。</p>

検討事項	主な視点・論点	これまでに示された意見や提案等
<p>3. 施設の規模と機能</p> <p>(1) 生産の見込みと処理頭数</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(2) 施設の規模と求められる機能</p>	<p>○産業振興計画による増頭を見込んだ集荷案は適切か。</p> <p>○県外からの集荷はどのくらい見込めるのか。</p> <p>○処理規模設定の基準を、1日平均と畜頭数とするのか。1日最大と畜頭数とするのか。</p> <p>○牛と豚それぞれの稼働日数をどのように設定するのか。</p> <p>○出荷日の調整はできるのか。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>○必要な施設規模はどの程度か。</p> <p>○どのような機能を持たせるのか(と畜、セリ、部分肉加工、精肉やハム・ソーセージなどへの加工等)。</p> <p>○機械化をどこまで進めるのか。</p> <p>○HACCPシステム導入や海外輸出に対応したハード整備を行うのか。</p> <p>○県民に開かれた施設の視点をどのように取り入れるのか(見学者や研修者の受入れ機能、見学者通路の新設等)。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 将来の生産頭数の変動、管理運営経費の縮減等を考慮しつつ規模を決定する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 新施設の規模、機能、事業費等については、検討会において協議・検討し、決定する。</p> <p>①高知に合ったセンターにしていくことが必要。</p> <p>①生産・流通・消費までを高知県内で施設を整備しながら行っていく必要がある。</p> <p>①生産者、人をブランド化し、安心・安全な食肉を供給していく必要がある。顧客に選ばれる食肉センターとなるようにしていく必要がある。</p> <p>(参考)</p> <p>・県の産業振興計画(増頭)に沿った集荷によると畜頭数見込み(稼働245日で試算)</p> <p>牛(H36見込み:2,646頭)</p> <p>1日平均と畜頭数:11頭</p> <p>1日最大と畜頭数(過去3年):25頭</p> <p>豚(最大見込み:13,280頭)</p> <p>1日平均と畜頭数:55頭</p> <p>1日最大と畜頭数(過去3年):79頭</p>

検討事項	主な視点・論点	これまでに示された意見や提案等
4. 整備の場所	<p>○整備の場所はどこが適切か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在地での建て替え。 ・ その他の場所での整備。 ・ 統合による整備。 	<p>あ 県内最大消費地である高知市でも、加工・流通・販売などに多くの市民が関わっている。安心な食肉の提供には地元で食肉センターは必要。</p> <p>① できれば、四万十市への一本化してほしいと思っている。</p> <p>① 四万十市単独でも四万十市営食肉センターの議論を行っていく。市営を継続していきたい。</p> <p>① 県内人口の減少、県外産のと畜が多いなか2か所必要かなど冷静な議論が必要。</p>
5. 運営の体制	<p>○JAグループが中心となって担う運営体制はどうあるべきか。</p> <p>○県・市町村の運営への関わり方はどうあるべきか。</p>	<p>あ 食肉センターを建て替えた場合、今の枠組み（設置者が事務組合、運営者が公社）での存続は無理。</p> <p>J 新施設の運営はJAグループが中心となって担うが、県・市町村の関わりについても検討委員会で協議をお願いしたい。</p> <p>県 新施設の管理運営は、JAグループが中心となって担う。（県・市町村の関わりは検討会で協議）</p>

検討事項	主な視点・論点	これまでに示された意見や提案等
6. 施設の整備	<p>○事業実施主体はどこが適切か。</p> <p>○建設費用の経費負担の割合はどうあるべきか。</p>	<p>J 新施設の建設に当たっては、国・県・市町村のご指導をいただき、公設民営を基本に検討委員会であらゆる可能性を検討します。</p> <p>あ 施設整備には、県も当然、公費の負担をしていく覚悟がある。</p> <p>あ 新施設の整備は、当然、市町村も入っていかざるを得ないのかとは思っている。</p> <p>あ 新施設の整備を全て税金で負担するのではなく、出荷団体でも応分負担する想定をしていただきたい。</p> <p>県 整備に要する経費の負担は、現在の食肉センターの整備、大規模改修の際の負担区分等を勘案し、検討会で協議する。</p>

〈第3回整備検討会までの調査項目〉

資料 2

(1) 本県の食肉処理を取り巻く現状の分析

目標を達成するために、食肉センターが置かれている現状を正確に分析し把握する。

① 外部環境と内部環境を分析する。

(例)

- ・ 外部環境：食肉処理のHACCPシステムが義務化。TPPの動向。人口減少や高齢化の進展による消費の動向等。
- ・ 内部環境：肉畜の集荷体制、と畜・解体、内臓処理、部分肉処理の体制の現状と課題。

② 整備に向けての「強み」及び「弱み」並びに「機会」及び「脅威」を明らかにする。

(例)

- ・ 強み：土佐あかうしをほぼ全頭と畜。
- ・ 弱み：施設の老朽化。HACCPシステムの未対応。
- ・ 機会：土佐あかうしや四万十ポークの人気の高まり。
- ・ 脅威：四国内における他の食肉センター整備の動き。

③ 強みを活かし、弱みを克服し、機会を取り込み、脅威を回避するためにはどのようにしたらよいかを分析し、検討する。

(2) 建設コスト等の試算

- ① 現在地で建て替え
- ② その他の適地で建て替え
- ③ 統合

調査項目	現在地で建て替え	その他の場所での設置	統合
建設コスト			
工期			
経営収支			
総合評価			

高知県新食肉センター整備検討会スケジュール（案）

年度	年月日	項目	協議事項等	
28 年度	H28.11.10	第1回整備検討会開催	<ul style="list-style-type: none"> キックオフ 高知県の畜産の現状について 基調講演「高知県が新たに食肉センターを整備するに当たって留意すべきこと」 意見交換 	
	H28.12.1	第2回整備検討会開催	<ul style="list-style-type: none"> 新食肉センター整備の今後の主な検討事項（案）について意見交換 整備の基本的な考え方（目的）について意見交換（1回目） 現状分析と建設コスト等の試算について、第3回までに調査 	
			現状分析	建設コスト等の試算
			↓	↓
			専門家による分析・調査 (1) 外部環境と内部環境を分析。 (2) 「強み」及び「弱み」並びに「機会」及び「脅威」を明らかにする。 (3) 強みを活かし、弱みを克服し、機会を取り込み、脅威を回避するためにはどのようにしたらよいかを分析し、検討する。	(1) 現在地で建て替えた場合 (2) その他の適地で建て替えた場合 (3) 統合した場合 の建築コスト、工期、経営収支などについて調査
	H29.2中旬（予定）	第3回整備検討会開催	<ul style="list-style-type: none"> 整備の基本的な考え方（目的）について検討（2回目） 現状分析の調査結果について報告、情報共有 新食肉センターの施設の規模と機能について意見交換（1回目） 意見交換を踏まえて第4回までの調査項目を決定 	
		専門家による分析・調査		
29 年度	H29.4中旬（予定）	第4回整備検討会開催	<ul style="list-style-type: none"> 新食肉センターの施設の規模と機能について検討（2回目） 運営体制、整備の場所について意見交換（1回目） 残った課題の解決と次回までに必要に応じて調査 	
		専門家による分析・調査		
	H29.6中旬（予定）	第5回整備検討会開催	<ul style="list-style-type: none"> 運営体制、整備の場所について検討（2回目） 建設の事業実施主体及び建設費用の経費負担について意見交換（1回目） 残った課題の解決と次回までに必要に応じて調査 	
		専門家による分析・調査		
	H29.8中旬（予定）	第6回整備検討会開催	<ul style="list-style-type: none"> 建設の事業実施主体及び建設費用の経費負担について検討（2回目） 新食肉センター整備計画書（案）の検討 	